

ニ當テハ十分ノ効力ヲ豫期スルヲ得  
海上ニ於テモ亦繫留及誘導氣球ノ他ニ陸地ニテ著大ナル關係ヲ有スル飛行機ハ  
恐ラク將來ノ海上作戰ニモ影響スルナラン  
海岸ヨリスル飛行機ノ動作ハ恐ラク陸地ヲ距ル約百吉米マテノ區域ヲ十分ニ搜  
索シ得ルニ過キサルナラン是レ其ノ構造ハ尙ホ不完全ニシテ斯ノ如キ勤務ヲ確  
實及正規ニ行ヒ能ハサレハナリ之ニ反シ既ニ現時ニテモ亦飛行機ハ良好ナル天  
氣ニ於ケル補助トシテ使用スルヲ得之ヲ遠洋艦隊ニ於ケル勤務ニモ亦利用シ得  
ヘキヤハ艦ヨリシテ使用シ再ヒ艦上ニ降下シ得ル機關ヲ構造シ得ルヤニ關係セ  
ン滑走ヲ要セサル無翼及翼式飛行機ハ艦上ヨリスル飛揚ノ爲ニハ學理上最モ適  
當ナルモノナランモ斯ノ如キ構造ノ現存セサル限リハ瓶型飛行機ノ飛揚及降下  
ヲ容易ニスル特別裝置ヲ具備スルヨリ他ニ策ナカラシ故ニ海軍カ此ノ飛行機ヲ  
幾何程度マテ利用シ得ルヤハ技術ノ發展ニ關スルナラン然レトモ此ノ點ニ於テ  
技術ニ課スル任務ハ過度ニ遠カラサル將來ニ於テ解決セラルルモノト豫期スル  
ヲ得ン而シテ此ノ方針ニ於テハ既ニ數回試驗ヲ行ヒ大ニ有望ナル成績ヲ收メ得  
タリト云フ

米國ニテハ此ノ問題ノ解決ニ特ニ熱心ナルノ觀アリテ特別構造ノ甲板ヲ有スル  
艦上ニテ飛行機ヲ飛揚セシメ且降下センメンカ爲メ特ニ有効ナル試驗ヲ行ヘリ  
亦一九一一年ノ春太平洋艦隊ノ實彈大射擊演習ヲ舉行シ特ニ艦砲及特別構造砲  
ヲ用ヒテ氣球及飛行機ヲ制壓センコトヲ唯一ノ目的トシ又既ニ一九〇八年ニハ  
米國ハ最モ適切ニ軍用飛行機ニ適用ス可キ要求ヲ確定シタリシモ未タ之ヲ充實  
シ得ルニ至ラス然レトモ我カ國ニテモ亦熱心ニ此ノ範圍ニ於テ他國ニ先鞭ヲ著  
ケ且戰時ニ於テ我カ海軍中央部及貿易港ヲ敵ノ空中艦隊ニ對シテ守護センカ爲  
メ必要ナル飛行機ヲ使用スルノ準備ヲ整フルニ勉ムルハ緊要ナリ是レ大洋ノ波  
浪中ニ於ケルト均シク蒼空ノ雲中ニ於テモ亦激戰ハ行ハル可キヲ以テナリ  
艦隊ニ屬スル眞ノ戰艦及其ノ使用ヲ容易ニシ且補充ス可キ各種ノ補助材料ノ他  
ニ現時ノ戰爭ニ於テハ所謂補助巡洋艦ヲ用ユ是レ蓋シ眞ノ戰艦ニ用ユルモノニ  
アラスシテ敵ノ貿易ヲ害シ敵ノ長キ作戰線ヲ脅威スルモノニシテ自國ノ商船中  
最大速力ヲ有スル大船ヲ選ヒ石炭ノ多量ト兵備トヲ備ヘテ補助軍艦ニ變更セラ  
ル此ノ處置即チ商船ヲ軍艦ニ變更スルニ關シテハ一九〇七年海牙平和條約ニ於  
テ殆ト全部ノ參加諸國委員ヨリシテ協賛セラレタリ敵ノ貿易ニ對スル戰爭ハ國  
際公法上認可セラレ一般ニ慣用セラル此ノ事ハ全ク自然的ニシテ又正當ナリ是  
レ相互ニ戰ヲ交ユルモノハ現時ニハ最早内閣ニアラスシテ人民ナレハナリ然レ



トモ海上ニテ此ノ戰爭ニ適用ス可キ法規ハ甚タ區區ニシテ一定スルコトナシ  
海上捕獲權ニ關シ數多ノ諸國カ承認シタル唯一ノ基礎ハ一八五六年ノ巴里宣言  
ニシテ該宣言ハ敵ノ所有物ニ對スル海上奪略權ハ中立國ノ船舶ニ積載シアル物  
件ノ他ヲ承認シ且該權利ハ私有船(捕獲船)ニ依リテ實施セラル可カラサルコトヲ  
定ム故ニ他ノ各種軍艦ト均シク敵ノ貿易船ヲ拿捕スルノ權ヲ有スル補助巡洋艦  
ハ捕獲船ニ代用セラル其ノ他ニ亦巴里宣言ハ各封鎖カ確實ナル可キコトヲ定ム  
ルモ確實トハ何ヲ意味スルヤヲ說クコトナシ亦戰時禁制品權ハ從來慣用セラレ  
タルモノナル可キヲ確定ス此ノ權利ハ各交戰者カ戰時禁制品トシテ認メント欲  
スルモノヲ主宰的ニ決定シ得ルニ在ルヲ以テ中立國ノ船舶ヲモ亦沒收スルニ存  
ス斯ノ如ク隨意ニ決定シ且交戰者カ中立國ニ對シテ有スル權利ハ毫モ確定シ  
ラサル點コソ海上權ノ不確實ナル所ナリトス捕獲即チ中立國ノ船舶奪略ノ適法  
ナルヤヲ裁決スルハ一般ニ國民捕獲物審檢所ナルモ中立國ノ權利ノ爲メ勿論何  
レカノ安全ヲ與フルコトナシ

之カ爲メ各國共ニ海上權ヲ詳細ニ規定センコトヲ議シ一八九九年「セヌア」同盟會  
議ハ海戰事項ニモ涉リ一九〇七年海牙平和會議ニ於テハ數多ノ議案ハ提出セラ  
レ多數ノ國ヨリ批准セラレタリシモ是等ハ皆海戰權中禁制品及封鎖ニ關スル最

要問題ニ關スルコトナクシテ單ニ二三ノ緊要ノ度少キ點即チ貿易船ノ軍艦變更  
平和的航行ノ利益ノ爲メ水雷使用ノ制限、公開地ヲ海軍力ニテ砲擊スル權利ノ制  
限等ヲ確定スルニ過キサリキ其ノ他一九〇七年十月十八日ニハ國際の高等捕獲  
物審檢所ヲ設置シ以テ捕獲事件ニ於テ公平ナル裁判ヲ行ハンコトヲ協賛セリ然  
レトモ該協賛ハ從來各國ヨリ批准セラルルコトナク特ニ日、英、露ノ三國モ亦之ニ  
記名スルコトナカリキ特ニ英國ハ審檢所ノ爲メ適用ス可キハ正義及公平ノ一般  
原則ナル可キ法則ニ反對シ權利ト公平トニ關シテ承認シ能ハサルヲ以テ物質的  
海戰權ノ調査及改正ノ爲メ新ニ海戰會議ヲ開催セリ

會議ニ於テハ數點ニ關シテ協賛シ實ニ封鎖權及禁制品權ニ關シ一大著書ヲ編纂シ  
タルヤノ觀ヲ有ス其ノ他ニ一交戰者ノ中立違反的援助ニ關シ捕獲船ヲ一港ニ護  
送スルハ軍艦ヲ危險ニ暴露シ或ハ之カ爲メ軍艦ヲシテ其ノ任務ニ服セシムルコ  
ト能ハサラシムルトキニ限リ中立的捕獲權ノ侵害ニ關シ敵船タルノ資格ヲ失ハ  
ンカ爲ニ行フ國旗變更ニ關シ軍艦ニ依ル中立國船舶ノ護送ニ關シ敵ノ性質檢閱  
ニ對スル抗議及損害賠償ニ關シテ規定スル所アレリ

商船ヲ軍艦ニ改造スルノ適法ニ關シ及所有者ノ國籍或ハ住所ノ何レニ依リテ船  
及搭載物カ敵有ナルヤ否ヤヲ決ス可キノ問題ニ關シテハ一致スルコトナカリキ



是レ英國及大陸國ノ利益ハ相互ニ背反シアリタレハナリ  
 特ニ封鎖及禁制品ニ關スル規定ハ交戰法ノ爲メ重要ニシテ直接海上ニ於ケル交  
 戰材料ニ著大ナル影響ヲ與ヘタリ

封鎖ニ關シテハ單ニ敵國海岸或ハ敵ノ占領セル海岸ノミヲ封鎖スルヲ得又閉塞  
 船ハ中立ノ港灣及海岸ニ至ル通路ヲ封鎖ス可カラサルコトハ規定セラレ其ノ他  
 封鎖ハ正規ノ如ク告知セラレ且敵國海岸ニ到ル通路ヲ眞實ニ妨止スルニ足ル一  
 兵力ヨリ維持セラレルトキニアラサレハ無効ナルコトヲ規定ス又中立國ノ船舶  
 ノ沒收ハ單ニ軍艦ノ動作範圍内ニ於テノミ行フヲ得ルモ船カ封鎖セラレサル一  
 港ニ到ル航行中ニ在ルトキハ行フヲ得ス尙ホ其ノ他ニ各箇問題及方式問題ニ就  
 テ規定セリ

禁制品ニ關シテハ絶對的及相關的ノ二種ヲ區別ス第一種ニ屬スルモノハ直接ニ  
 交戰法ニ必要ナル物件ナリ亦第二種ニ屬スルモノハ間接ニ交戰法ノ利ニ歸スル  
 モノニシテ糧食被服貨幣及紙幣モ包含セラル

其ノ他決シテ戰時禁制品トシテ取扱フ可カラサル物件ノ所謂自由品目表ナルモ  
 ノハ調製セラル而シテ絶對的及相關的戰時禁制品表ハ交戰者ヨリシテ若干條件  
 ヲ附シテ補充セラルルヲ得自由品目表ハ毫モ交戰法ニ關係ナキ數多ノ物件ノ他

ニ紡績及鑛物工業用原料ヲ網羅シ以テ交戰國ノ工業ヲ守護ス

絶對的及相關的戰時禁制品ノ取扱ニ於ケル區別左ノ如シ即チ絶對的戰時禁制品  
 ノ物件ハ敵國或ハ敵ノ占領地或ハ敵軍ニ充テアルトキハ就中其ノ直接規定地ニ  
 達スルカ或ハ中立地ヲ經テ送ラルルニ顧慮スルコトナク沒收セラル然レトモ相  
 關的戰時禁制品ハ敵軍或ハ敵國經理官衙ノ使用ニ充テラレアリト證明ス可キニ  
 アラサレハ沒收セラルルコトナシ此ノ規定ノ効力範圍ハ著大ニシテ例ヘハ中立  
 國ノ船舶ヲ用ヒ英國民ニ生活需要品英國工業ニ原料ヲ戰爭間ニテモ妨ケラルル  
 コトナク供給スルヲ得

是等ノ諸規則ハ一九〇九年二月二十六日附倫敦宣言書ニ載セラレ獨、佛、露、奧、伊、西、  
 蘭、日、米、英ノ十國ヨリ記名調印セラレタルモ國際的高等捕獲物審檢所ニ關スル協  
 議ト均シク從來批准セラレタルコト少ナキモ將來ニ於テモ亦此ノ二協議ハ國際  
 的法律効力ヲ有セザランコトヲ希望スルヲ要ス

是等ノ規定ハ中立國及交戰國トノ有利ナル商業交通ヲ阻害セザラントスル中立  
 的貿易ノ爲ニ定メラレタルモノナリト雖モ吾人カ英國トノ戰爭ニ於テ利用シ得  
 ル重要ナル武器ノ一箇ヲ奪去スルモノナラン即チ英國輸入ヲ全然妨害スルコト  
 是ナリ英國ハ其ノ國民給養ノ爲ニハ全ク外國ニ依ラサル可カラス若シ食料輸入



ニシテ禁止セラルルカ或ハ單ニ著シク制限セラルルニ過キサルトキハ島國ニハ最モ恐ル可キ飢饉ヲ生セサル可カラズ英國工業モ亦原料ノ輸入ヲ要スルコト無限ナリ若シ該輸入ノ制限セラルルアラハ失職者ヲ生スルニ至ル吾人モ亦彼ノ國際的協議ノ一般ニ承認セラルルトキハ勿論國民給養及我カ工業維持ニ必要ナル食料品及原料ヲ中立國ノ船舶ニテ輸入シ得ルノ利益ヲ有スルヲ得ン然レトモ英國ト我カ國トノ間ニハ非常ナル相異ノ存スルアリ即チ吾人ハ第一ニハ是等ノ物件ヲ輸入スルニ英國ノ如ク單ニ海路ニ依ルノ要ナク亦陸路ニ依ルノ便アルヲ以テ英國ノ如ク中立國ノ船舶ヲ要スルコトナシ然レトモ第二ニハ英國ハ我カ海岸ヲ封鎖シ以テ諸規定ノ利益ヲ以テ吾人ヲ欺クヲ得ン況ンヤ吾人ハ決シテ英國港灣ヲ封鎖スルノ考案ヲ抱持シ能ハサルニ於テオヤ故ニ前記ノ協議ニ依リテ利益ヲ享有スルハ全ク英國ノミナリ其ノ他該協議ハ既ニ前記シタル如ク國民間ニ行ハレ隨テ敵國民ノ全體ヲ害スルノ權ヲ附與ス可キ現代戰爭ノ本性ニ背反ス然ルニ中立國ノ貿易ハ他ノ道途ヲ求ムルヲ得是レ廉價ニ買ヒ高價ニ賣ルハ國民生活ノ全ク緊要ナル唯一目的及内容ニアラサレハナリ

故ニ間接的交戦法ハ特ニ我カ國ノ爲ニハ直接的交戦法ノ補充トシテ戰爭ノ全經過ノ爲メ高キ價值ヲ有シ得ルヲ以テ吾人ハ英國ニ對シ海上捕獲權及戰時禁制權

ヲシテ決シテ輕減セシムルコトナク却テ此ノ權利ハ我カ大ニシテ有力ナル貿易船ニ在テハ最良戰時材料ノ一ニシテ吾人ハ休止スルコトナキ動作力ヲ以テ貿易戰ノ爲ニ準備ヲ整ヘ且外國ニ於テ之カ爲メ支撐點、蓄炭所及軍港ヲ設置スルコトニ努メサル可カラス

南米諸國カ合衆國ニ對スル戰爭ニ敗レタルハ主トシテ外界トノ交通カ全ク杜絶シ且各種ノ輸入ヲ禁止シタルニ原因ス

## 現今ノ戰爭上卷終



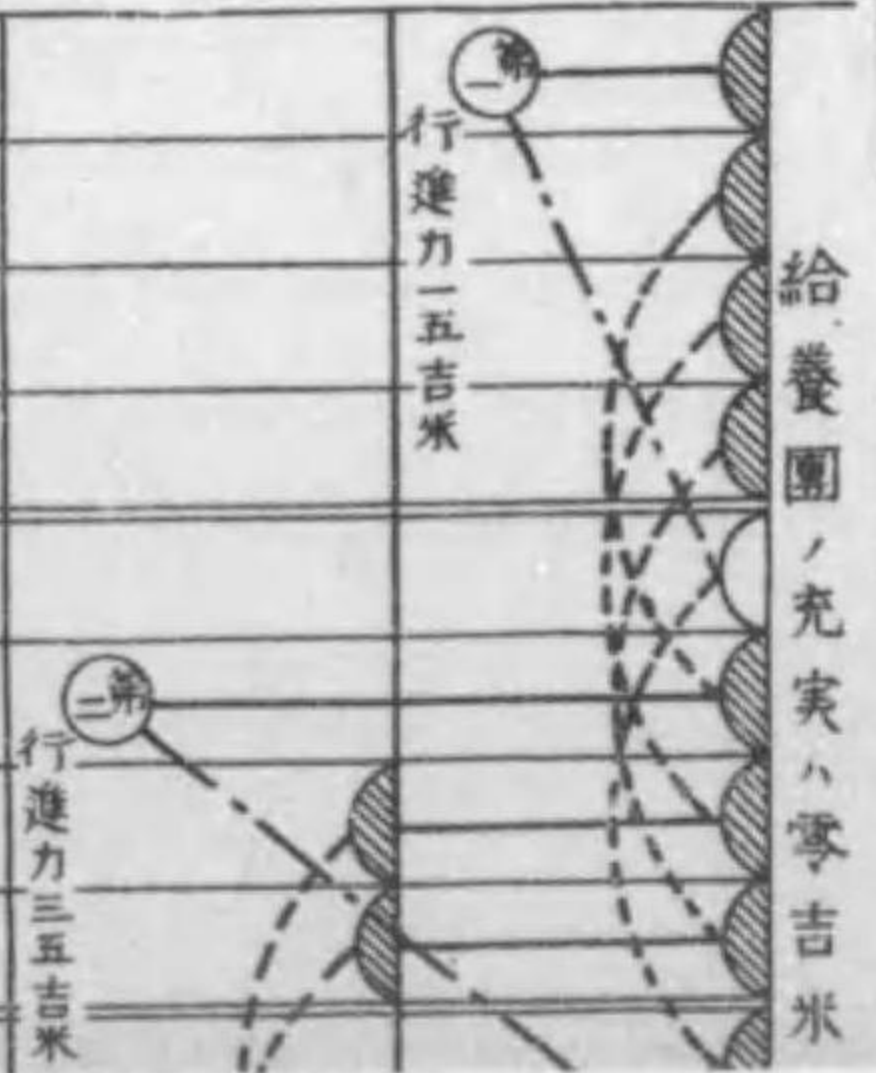




第一表

軍團ハ 到達ス 即チ行 進日ニ	戰團部隊		糧食車及芻 秣車ハ次ノ		戰團部隊ノ 糧食車及芻 秣車ノ最大		給養			
	テ以テ	テ以テ	テ以テ	テ以テ	テ以テ	テ以テ	第一行進日	第二行進日	第三行進日	第四行進日
第一日	三	二	第一	五	三	九	第一	第二	第三	第四
第二日	四	三	第二	五	四	六	第一	第二	第三	第四
第三日	六	五	第三	五	四	四	第一	第二	第三	第四
第四日	八	七	第四	六	四	四	第一	第二	第三	第四
第五日	一〇	九	第一	一〇	四	四	第一	第二	第三	第四
第六日	一三	一〇	第二	一五	三	九	第一	第二	第三	第四
第七日	一五	一四	第三	一七	三	六	第一	第二	第三	第四
第八日	一七	一六	第四	一七	三	五	第一	第二	第三	第四

註記  
此ノ所ニ想定シタル如ク四箇ノ給養團カ第一行進日ニ充實シ  
ルヲ得爲ニ追送能力ハ幾分ヲ増進スルモ此ノ處置ハ願慮スル  
以前ノ作戰時期ヨリシテ從來ノ軍團前進街道上ニ在リテ漸ク

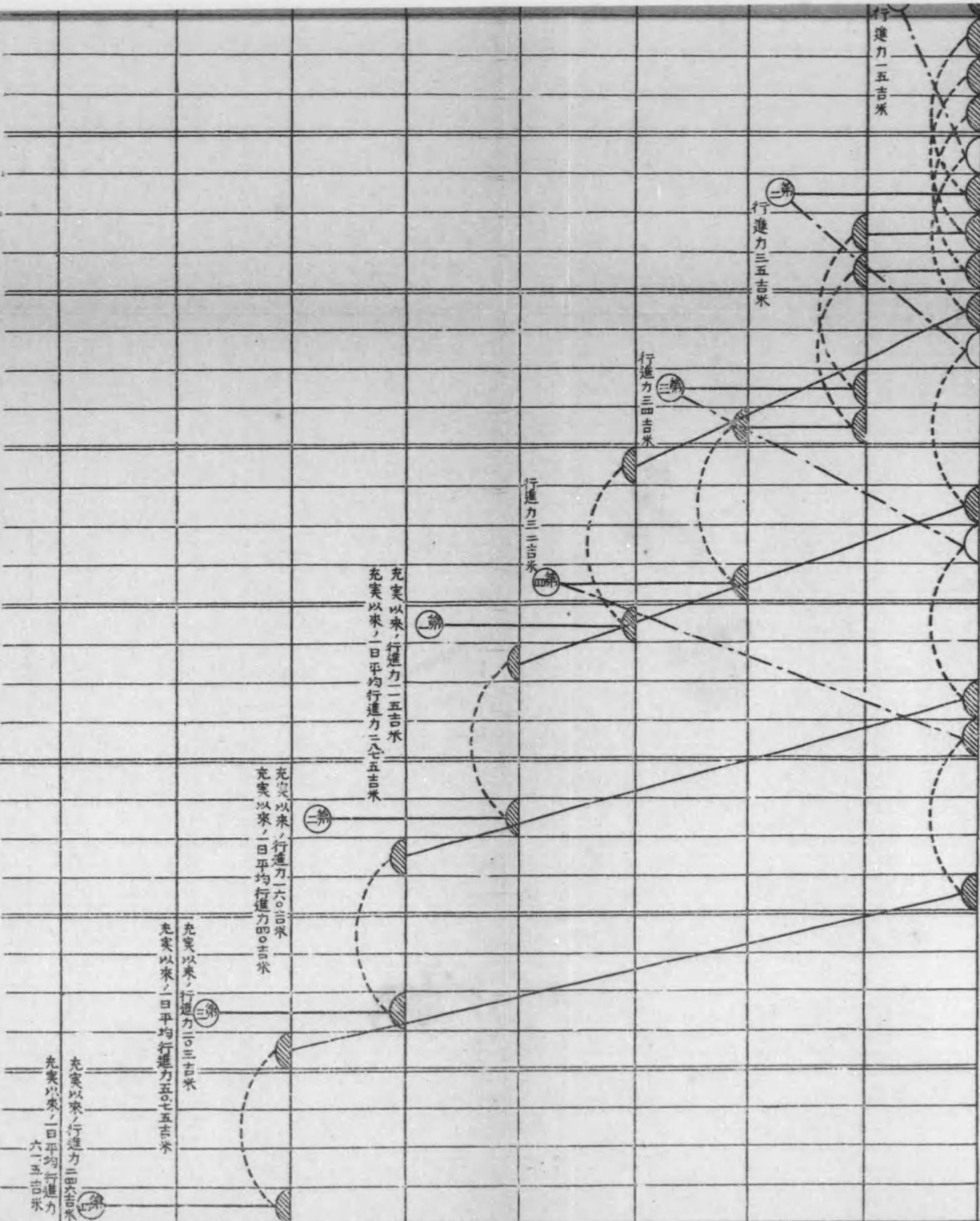




給養團ノ運動

第一行進日	第二行進日	第三行進日	第四行進日	第五行進日	第六行進日	第七行進日	第八行進日
第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
第二	第二	第二	第二	第二	第二	第二	第二
第三	第三	第三	第三	第三	第三	第三	第三
第四	第四	第四	第四	第四	第四	第四	第四

給養團ノ充實ハ零吉米ニテ倉庫ニ行フ



註記

○ハ毎日使用スル給養團ノ卸下  
 ハ充實セル毎日使用給養團ノ行進  
 ハ空虛トナリタル毎日使用給養團ノ行進  
 ハ毎日使用給養團カ再充實ノ爲メ倉庫ニ於ケル駐止或ハ充實セル縦列ノ宿營

空虛トナリタル給養團カ軍隊ヨリ倉庫ニ往返スルニハ毎ニ四日間行進スルモノトス  
 第五給養團ハ現在スルモノト想定シアルモ縦列自身ノ給養ノ爲ニ必要ナルヲ以テ算入シアラス

◐ハ充實セル  
 ◑ハ充實セサル  
 縦列

給養團カ第一行進日ニ充實シテ使用セラルトキハ第二、第三及第四團ハ本表ニ於ケルヨリモ早ク續行スルヲ得例ヘハ第二團第一行進日ニハ三〇吉米マテ等ナリ此ノ場合ニハ支給地ニ到ル最終行進ハ短縮セラレ縦列ハ空虛トナリタル後チ直チニ支給倉庫ニ背進スルモ此ノ處置ハ願慮スルノ要ナシ是レ全部ノ縦列ニ行進開始ニ當リテ準備シアルモノト想定ス可カラサルヲ例トシ却テ多クハ其ノ軍團前進街道上ニ在リテ漸次ニ倉庫ノ許ニ到着スレハナリ

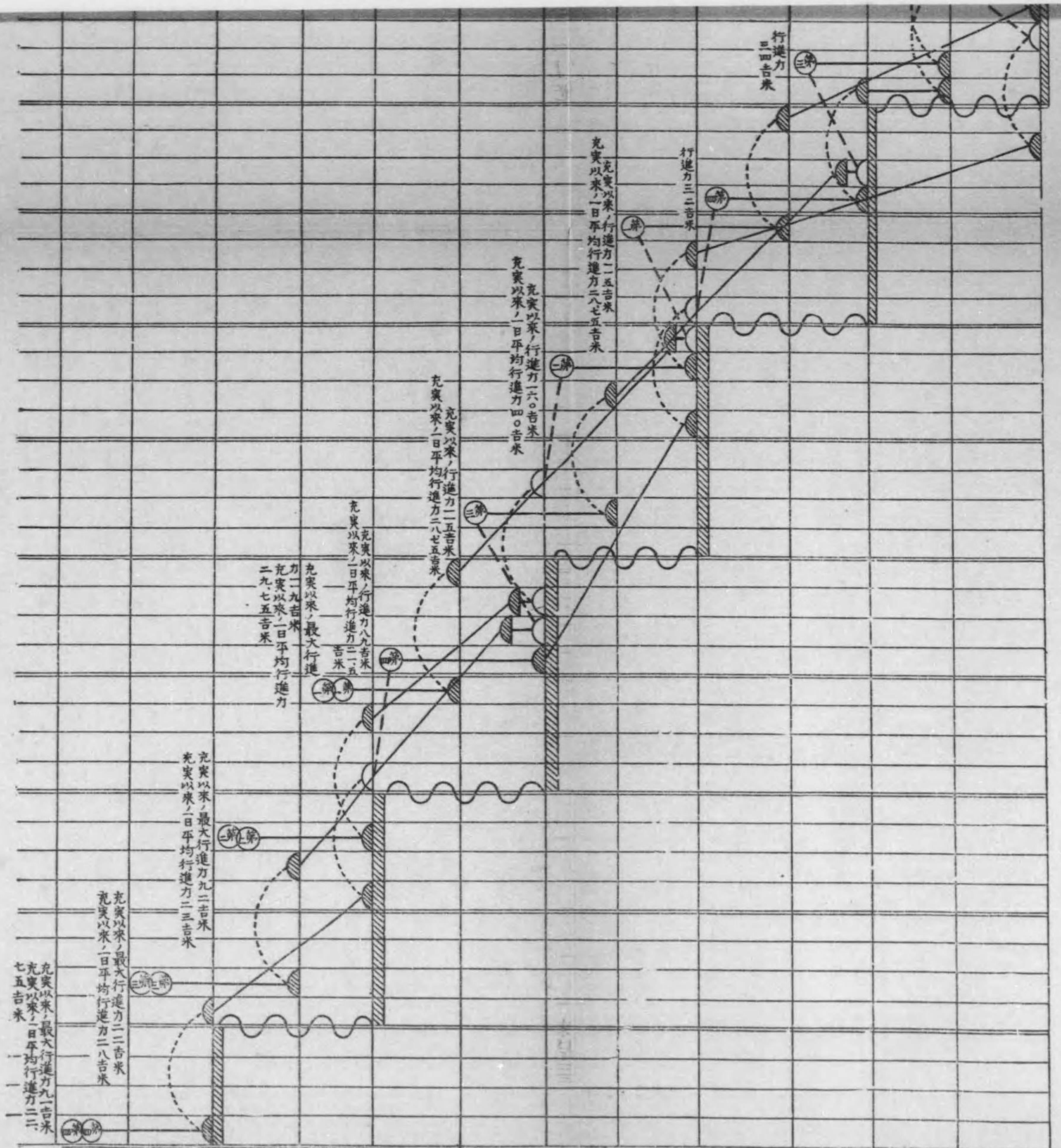






養 團 運 動

第一	第三行進日
第二	第三行進日
第三	第三行進日
第四	第三行進日
第一	第四行進日
第二	第四行進日
第三	第四行進日
第四	第四行進日
第一	第五行進日
第二	第五行進日
第三	第五行進日
第四	第五行進日
第一	第六行進日
第二	第六行進日
第三	第六行進日
第四	第六行進日
第一	第七行進日
第二	第七行進日
第三	第七行進日
第四	第七行進日
第一	第八行進日
第二	第八行進日
第三	第八行進日
第四	第八行進日
第一	第九行進日
第二	第九行進日
第三	第九行進日
第四	第九行進日
第一	第十行進日
第二	第十行進日
第三	第十行進日
第四	第十行進日
第一	第十一行進日
第二	第十一行進日
第三	第十一行進日
第四	第十一行進日
第一	第十二行進日
第二	第十二行進日
第三	第十二行進日
第四	第十二行進日



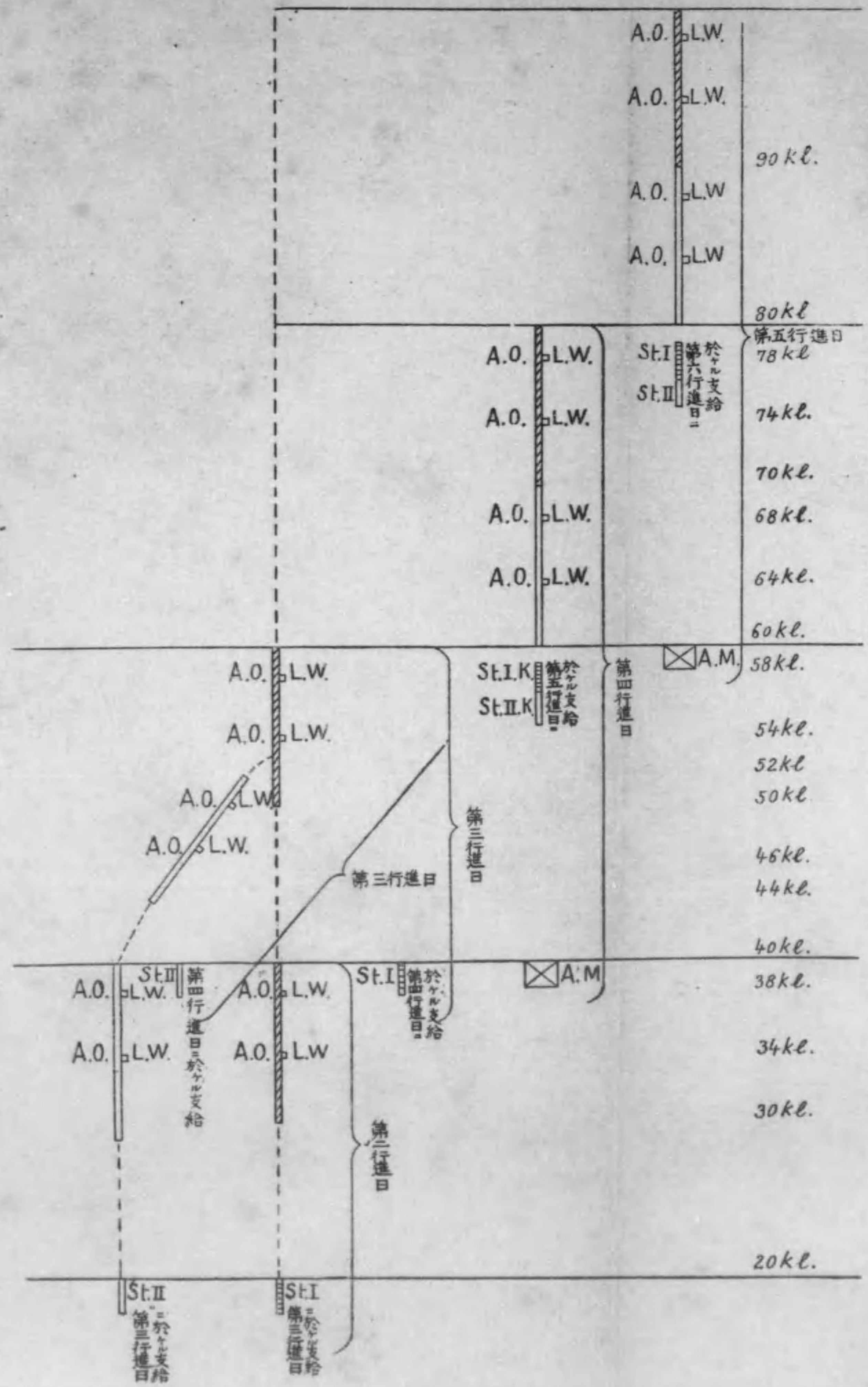
註 記

○ハ毎日使用ノ給養團ノ卸下  
 ハ充實セル毎日使用給養團ノ行進  
 ハ空虛トナルタル給養團ノ行進  
 ハ毎日使用給養團力再充實ノ爲メ倉庫ニ於ケル駐止或ハ充實セル縦列ノ宿營  
 空虛トナリタル給養團力軍隊ヨリ倉庫ニ往返スルニハ毎ニ四日間行進スルモノトス  
 第五給養團ハ現在スルモノト想定シアルモ縦列自身ノ給養ノ爲ニ必要ナルヲ以テ算入シアラス  
 充實セル縦列  
 倉庫ノ推進  
 其ノ他ハ第一表ノ註記參照

○ハ毎日使用ノ給養團ノ卸下  
 ハ充實セル毎日使用給養團ノ行進  
 ハ空虛トナルタル給養團ノ行進  
 ハ毎日使用給養團力再充實ノ爲メ倉庫ニ於ケル駐止或ハ充實セル縦列ノ宿營  
 空虛トナリタル給養團力軍隊ヨリ倉庫ニ往返スルニハ毎ニ四日間行進スルモノトス  
 第五給養團ハ現在スルモノト想定シアルモ縦列自身ノ給養ノ爲ニ必要ナルヲ以テ算入シアラス  
 充實セル縦列  
 倉庫ノ推進  
 其ノ他ハ第一表ノ註記參照



### 第 三 表



- A. M. 支給倉庫
- A. O. 梯隊ヨリ糧食車へノ支給地
- L. W. 糧食車
- St. IK. } 第一軍團給養梯隊
- St. IIK } 第二軍團給養梯隊
- ▨ 第一軍團
- ▩ 第二軍團
- ▧ 第一軍團梯隊
- ▦ 第二軍團梯隊
- 軍團ノ行進長徑ハ二十五吉米トス
- 各軍團給養車及行李ノ行進長徑ハ八吉米トス
- 各軍團給養梯隊ハ二吉米トス
- 前進路
- 第四及第五行進日ニ於テ各軍團カ右方ニ抽出シテ記載シアルハ給養團カ前日ノ行進縦隊中ニ記入スルノ要ナキ爲ナリ

此表は、第一軍團及第二軍團の給養梯隊の行進距離を示す。A.M.は支給倉庫、A.O.は梯隊ヨリ糧食車へノ支給地、L.W.は糧食車を示す。St. IK.は第一軍團給養梯隊、St. IIK.は第二軍團給養梯隊を示す。▨は第一軍團、▩は第二軍團、▧は第一軍團梯隊、▦は第二軍團梯隊を示す。軍團ノ行進長徑ハ二十五吉米トス、各軍團給養車及行李ノ行進長徑ハ八吉米トス、各軍團給養梯隊ハ二吉米トス。-----は前進路を示す。第四及第五行進日ニ於テ各軍團カ右方ニ抽出シテ記載シアルハ給養團カ前日ノ行進縦隊中ニ記入スルノ要ナキ爲ナリ。



第四表

第三行進日

軍 隊

第一軍團		第二軍團		第一軍團		第二軍團		第一軍團		第二軍團	
四〇吉米ニテ先頭ハ	六〇吉米ニテ先頭ハ	三〇吉米ニテ後尾ハ	五〇吉米ニテ後尾ハ	四〇吉米ニテ先頭ハ	五二吉米ニテ先頭ハ	三二吉米ニテ後尾ハ	四四吉米ニテ後尾ハ	三八吉米ニテ先頭ハ	六〇吉米ニテ先頭ハ	三八吉米ニテ後尾ハ	五〇吉米ニテ後尾ハ
午前 五時 出發	午前 十時 著	午前八時四十五分出發	午後一時四十五分著	午前八時三十分著	午前十一時出發	午後四時三十分著	午後二時四十分著	午後一時十五分出發	午後四時三十分著	午後六時十五分著	午後四時十五分著
給養梯隊ノ最大行進力ハ三八吉米ナリ											

第四行進日

軍 隊

第一軍團		第二軍團		第一軍團		第二軍團		第一軍團		第二軍團	
六〇吉	八〇吉	五〇吉	七〇吉	五八吉	八〇吉	五八吉	六〇吉	五八吉	八〇吉	五八吉	六〇吉
給養梯隊ノ											



第四行進日

軍 隊

第一軍團	六〇吉米ニテ先頭ハ	午前 五 時出發
	八〇吉米ニテ先頭ハ	午前 十 時 著
	五〇吉米ニテ後尾ハ	午前八時四十五分出發
	七〇吉米ニテ後尾ハ	午後 一 時四十五分著
第二軍團	五二吉米ニテ先頭ハ	午前 九 時十五分出發
	七〇吉米ニテ先頭ハ	午後 二 時 著
	四四吉米ニテ後尾ハ	午後 一 時出發
	六〇吉米ニテ後尾ハ	午後 五 時四十五分著

大 行 李

第一軍團	五八吉米ニテ先頭ハ	午後五時四十五分出發
	八〇吉米ニテ先頭ハ	午後十一時十五分著
	五八吉米ニテ後尾ハ	午後七時四十五分出發
	七〇吉米ニテ後尾ハ	午後 十 時四十五分著
第二軍團	五〇吉米ニテ先頭ハ	午後 三 時 出發
	六八吉米ニテ先頭ハ	午後 十 時十五分著
	五〇吉米ニテ後尾ハ	午後 七 時三十分出發
	六〇吉米ニテ後尾ハ	午後 十 時十五分著

給 養 梯 隊

第一軍團	五八吉米ニテ先頭ハ	午後九時四十五分出發
	七八吉米ニテ先頭ハ	翌日ノ 午前二時四十五分著
	五八吉米ニテ後尾ハ	午後 十 時十五分出發
	七四吉米ニテ後尾ハ	翌日午前二時十五分著
第二軍團	五八吉米ニテ先頭ハ	午後 十 時十五分出發
	六八吉米ニテ先頭ハ	翌日ノ 午前零時四十五分著
	五八吉米ニテ後尾ハ	午後 十 時十五分出發
	六四吉米ニテ後尾ハ	午後十一時四十五分著

給養梯隊ノ最大行進力ハ三八吉米ナリ

第五行進日

軍 隊

第一軍團	八〇吉米ニテ先頭ハ	午後 五 時出發
	一〇吉米ニテ先頭ハ	午前 十 時 著
	七〇吉米ニテ後尾ハ	午前八時四十五分出發
	九〇吉米ニテ後尾ハ	午後 一 時四十五分著
第二軍團	七〇吉米ニテ先頭ハ	午前 九 時 時出發
	九〇吉米ニテ先頭ハ	午後 二 時 著
	六〇吉米ニテ後尾ハ	午後零時四十五分出發
	八〇吉米ニテ後尾ハ	午後 五 時四十五分著

大 行 李

第一軍團	七八吉米ニテ先頭ハ	午後五時四十五分出發
	一〇吉米ニテ先頭ハ	午後十一時十五分著
	七八吉米ニテ後尾ハ	午後七時四十五分出發
	九〇吉米ニテ後尾ハ	午後 十 時四十五分著
第二軍團	七八吉米ニテ先頭ハ	午後七時四十五分出發
	九〇吉米ニテ先頭ハ	午後 十 時四十五分著
	七八吉米ニテ後尾ハ	午後九時四十五分出發
	八〇吉米ニテ後尾ハ	午後 十 時十五分著

給 養 梯 隊

第一軍團	七八吉米ニテ先頭ハ	午後 十 時 時出發
	九八吉米ニテ先頭ハ	翌日ノ 午前二時三十分著
	七八吉米ニテ後尾ハ	午後 十 時三十分出發
	九四吉米ニテ後尾ハ	午前 零 時三十分著
第二軍團	七八吉米ニテ先頭ハ	午後 十 時三十分出發
	八八吉米ニテ先頭ハ	翌日ノ 午前 一 時 著
	七八吉米ニテ後尾ハ	午後 十 一 時 時 出發
	八四吉米ニテ後尾ハ	午前 零 時三十分著

給養梯隊ノ最大行進力ハ三九吉米ナリ







終